

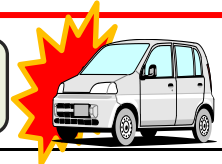


～車両使用テロの防止対策の推進～

世界各国では車両によるテロが相次いでおり、多数の人が集まり、警備が手薄な場所が狙われ、多くの死傷者を出しています。

こうした情勢を受け、福井県警察では、レンタカー事業者様のご協力の下、県内各地でテロ対処訓練やテロ情勢に関する講演会を実施しました。

世界各国で相次ぐ車両使用テロ



2017年6月3日	ロンドン	観光名所「ロンドン橋」の歩道に乗用車（レンタカー）が突入。歩行者を轢過し、刃物で殺傷（8人死亡、約50人負傷）
2017年8月17日	バルセロナ カンブリス	2カ所で市民や観光客らの人混みに乗用車が突入し、歩行者を轢過（16人死亡、130人以上負傷）
2017年10月31日	ニューヨーク	市街地の自転車専用道路にトラック（レンタカー）が突入し、歩行者らを轢過（8人死亡、11人負傷）

車両（レンタカー）使用テロ対処訓練

越前警察署では、10月23日、越前市の「武生交通レンタカー」様が参加し、テロリストがレンタカーを使用してテロを敢行するとの想定で、訓練を実施しました。

訓練では、県警察担当者が「不審借受者の着眼点」等を教示し、警察への通報訓練や警察官によるテロリストの制圧訓練を行いました。



テロ情勢に関する講演会の開催

県警察本部では、11月28日、一般社団法人福井県レンタカー協会会員の皆様に、テロ情勢に関する講演会を開催しました。

講演会では、最近発生した主なテロ事件の概要等国内外のテロ情勢や官民一体となったテロ対策について説明した上で、テロの未然防止のための着眼点や留意点を紹介しました。

講演会には、福井県内のレンタカー事業者約100名の方にご参加いただきました。

